

	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
3	平良 弘光	町道の整備について	新しく町道を整備する場合、クリアにしなければならない基準等があるか伺う。	町長	町道整備について 町道を整備する場合、クリアにしなければならない基準等について 採択基準としては、町道に認定されていれば新規要望申請はできます。その場合、 ①新規路線要望の理由②公共性が高いこと③用地取得で難航しないこと等が条件となっています。事業化する前に、町単費で概略設計後、道路法線・工事費・用地費・補償費算定後、総事業費を算出、費用対効果 (B/C) が出た場合のみ、県へ新規採択要望書を提出するスケジュールとなります。 費用対効果が出ない場合は、採択は厳しくなります。
3	平良 弘光	防風林の植栽について	12月定例会で質問した比屋定シンバルの防風林の県への要請は行ったか伺う。	町長	・比屋定新原海岸の倒木、立ち枯れした保安林につきましては、平成27年12月21日に県南部林業事務所にて調整を行ってまいりました。 比屋定新原は、潮害防備保安林に指定されており南部林業事務所にて現地を確認、調査を行い保安林植林事業の導入を検討するとの事でした。
3	平良 弘光	スポーツ施設の整備について	町長の平成28年度施政方針の中に陸上競技等の合宿を誘致したいとあるが、それに伴う施設の整備計画等があるのか伺う。	町長	陸上競技の合宿誘致については、施設を極力必要としない駅伝部を想定しており、交通量の少ない久米島は道路中心の走り込みができることが魅力でチーム数も年々増えつつあります。施設整備されれば他の種目の誘致の可能性もあると聞いていますので今後も他競技等の合宿誘致が可能なか調査等も含め、十分、審議を重ねながら進めてまいります。
6	赤嶺 秀徳	航空運賃の低減に向けたダブルトラックについて	私は、昨年12月定例会に於いて、航空運賃の低減について、3点質問しました。 航空運賃の実質的な低減と離島割引対象の拡充については、去る1月13日の県知事との意見交換でも要請しましたので、何らかのアクションがあるものと思っております。 今回は、ダブルトラックについてであります。先の答弁で観光振興や運賃低減を推進する上からも大きな課題であり、他社の参入も必要である。として今年度(平成27年度)調査を進めているとの答弁でした。1点だけ質問します。 12月から3ヶ月経た現在までの程度の調査を実施したか。その進捗状況について伺いたい。	町長	航空路線拡充に関する調査期間は3月25日までとしております。調査内容は、既存航空路線の拡充についての可能性、ダブルトラックの可能性について行っております。 ダブルトラックについては、1社に対し調査・意見交換を行っておりますが、調査期間内にあと1社の訪問を予定しております。

	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
6	赤嶺 秀徳	儀間・嘉手苅地内県道173号線の改良について	<p>儀間・嘉手苅地内県道173号線の改良については、字儀間359番地沖縄電力久米島営業所前久米島製糖入口交差点から字嘉手苅662番地旧共同作業所あけぼの先交差点までの約1300メートル区間の道路環境は非常に悪い状況にある。</p> <p>まず、歩道と車道の段差が極端で凹凸が著しく、歩道が狭く、ガードパイプも非常に違和感がある。また、歩道には側溝も含まれており蓋が不安定なため大きな音を発している。最近、子供が足を挟まれる事故が発生しましたが、大事には至らず報告等はなかったと思います。</p> <p>さらに、横断歩道が儀間公民館前、旧久米島中学校入口、久米島小学校入口、嘉手苅公民館前の4カ所に設置されているが、15cm程の緑石と緑石の間に設置されていることから、交通弱者、特に高齢者が車道を歩行したり横断している状況である。</p> <p>そこで1点伺いたい。 この区間について早急に改良する必要がある。しかし県道であることから町行政としてどの様に対策を講ずるか。</p>	町長	<p>儀間・嘉手苅地内の県道173号線の改良について 質問にある区間は、県道83号線 久米島空港真泊線です。 当区間の県道整備について、県土木建築部から整備に向けて報告はありませんが、浦崎副知事が2月18日、19日に来島したとき視察に同行し、同箇所は県道だけではなく、久米島町全体的に県道の整備不良箇所が多いことと、未だに未整備の歩道が多く、また、狭隘な箇所が多いので、県道整備事業採択に向けて強く訴えました。副知事からは、「全体的に整備が滞っているようなので、持ち帰って早急に土木建築部と協議したい。」旨の報告がありました。町としては今後も早急に事業採択するよう要請をしていきたいと思っております。</p>
12	翁長 学	人材育成と企業支援を	<p>道路交通法改正により、以前久米島でも大型、大型2種等が取得できたが、現在ではできない。 そこで建設業、運送業、旅行業等から人材確保ができない現状となり、困っていると相談を受けた。 町として、免許取得ができるように（企業）支援できないか。</p>	町長	<p>まず、個人の各種資格取得についてですが、厚労省が実施している求職者を対象とした教育訓練給付金制度を活用する方法はありますが、その他の一般個人の資格取得に対して助成している市町村は見当たらないことから、個人の資格取得に対して自治体が公費による助成を行うことは難しいと考えます。 しかし、今後の観光振興を含めた各種産業振興にとって、大型免許等を持つ人材の確保は大変重要であることから、社員の資格取得に対する企業への支援などについては、各関係機関と十分協議しながら、総合的に検討する必要があると考えています。</p>
12	翁長 学	遊具のある公園整備を	<p>現在、久米島町では遊具のある公園が少ないと、子育て最中の保護者から、意見があった。 充実した遊具のある公園整備ができないか。</p>	町長	<p>本年度策定しました第2次久米島町総合計画の施策を柱に、子どもの遊び場の充実が設定され、取組方針に既存の公園、遊び場をより使いやすく安全な状態に整備するとしています。 平成28年度に沖縄振興特別推進交付金で子育て支援事業としてふれあい公園に大型のコンビネーション遊具の設置に取り組みます。</p>

	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
5	吉永 浩	若者が活躍できる魅力ある島づくりに向けた創業支援事業の拡充と補助対象の大幅な見直しについて	<p>島内において若者の創意工夫による起業・創業、新たな産業や魅力づくり活動を行う事業者や団体、個人に積極的な「補助金支援」を行うことで、やる気と情熱とアイデアあふれる若者が活躍する島になり、地域活性化に繋がると考える。そこで2点質問する。</p> <p>① 平成28年度も引き続き、創業支援補助金の継続の拡充が島の魅力化、特に若者が活躍する土壌づくりのために必要と考えるが、平成27年度の実績も踏まえ、町長の見解を伺う。</p> <p>② 創業支援補助金の対象者が、「国の類似支援事業の基準」と全く同じであり、これでは離島の現状とそぐわない。地方創生を旨とするのであれば、久米島にあって形の補助事業にすべきであり、補助事業の対象を島の魅力化に貢献できる可能性のある法人・個人事業者・団体まで間口を広げる必要があると考える。補助対象者の大幅な見直しを行うべきと考えるが見解を伺う。</p>	町長	<p>①町の創業支援計画において、年間3件の新規創業者を目標とし、今年度は計画通りの支援となりました。平成28年度においても引き続き実施する予定ですが、現在、財源について調整を進めているところです。</p> <p>②本町の創業支援事業計画は、平成26年2月に産業競争力強化法に基づく国の認定を受けて実施しておりますが、事業計画については国の指針に基づき認定申請の手続きを行うことから地方独自の基準が取り入れられるのか調整していく必要があります。</p>
5	吉永 浩	「久米島町シルバー人材センター」の必要性和ち上げに向けた準備について	<p>地域活性化を図る事業として地域や福祉の担い手として、ボランティア活動の推進役として、そして健康の維持・増進を図ることを目的に「久米島町シルバー人材センター」の早期の立ち上げ準備を平成28年度中に行う必要があると考える。そこで次の3点質問する。</p> <p>① これからの超高齢化社会を迎えるにあたって、人生を有意義に過ごすため、退職後も生きがいをもって自主的に自らの知識と経験を活かし、社会貢献を行う「久米島町シルバー人材センター」の立ち上げが必要だと考えるが町長の見解を伺う。</p> <p>② 現在の高齢化率、高齢者に占める後期高齢者の割合、現在、県内市町村においてシルバー人材センターが設置されている市町村の数は、それらの数をどのように考えるか？</p> <p>③ シルバー人材センターの立ち上げ準備のためには、半年から1年の準備期間が必要だと言われています。そして担当者は、福祉部門だけでなく、「仕事」という観点から産業振興部門双方で進めていく必要があると考えられている。特に立ち上げ時には行政の積極的な関与・援助・協力が必要である。平成29年度立ち上げを目指し、平成28年度中シルバー人材センター立ち上げに係る事務担当者をおき、必要であれば予算措置を行う考えはあるか町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>①全国的に進む高齢化社会の中でも本町は26%を超えるさらに高い高齢化率となっています。また、介護認定者数も年々増加傾向にあり、介護予防の観点からも高齢者が体を動かし健康の維持・増進を図れるシルバー人材センターは必要だと考えております。</p> <p>②平成28年1月現在高齢者数が2,197名で高齢者に占める75歳以上人口が1,292名となっております。高齢者の約60%が75歳以上の後期高齢者となっています。県内では約半数の17市町村がセンターを設置しており、本町においても増加する老年人口に対し減少傾向にある生産年齢人口を補うためにも、シルバー人材の活用は有効だと考えております。</p> <p>③センターの立ち上げについては、どの程度の事務量が有るのか把握しておりませんので、兼務させながら必要に応じて予算措置も検討したいと思っております。</p>
5	吉永 浩	久米島全コンビニにおける救命機器の常備の必要性について	久米島町はスポーツイベントや観光イベントが充実している。そのイベントを安全に実施するため、そして日ごろからの町民の安全・安心を守る施策として、町内の各コンビニにAEDを設置する必要があると考えるが検討できないか。	町長	<p>現在、島内には公共施設・学校及び民間事業所等の30箇所余りにAEDが設置されておりますが、多くのAED設置箇所は、夜間及び休日には施設が施錠され利用できない状況となっているため、24時間営業のコンビニへ設置することにより救命率の向上が図られ、また観光客及び地域住民へのサービス向上へ寄与されることとなります。</p> <p>今後、関係課と調整し、設置に向けて検討したいと思っております。</p>

	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
7	仲村 昌慧	のんびりウォークについて	のんびりウォークは今年の大会で9回目を迎えた。第1回大会から昨年の第8回大会までは、1月第3、土・日に開催してきたが、今年は第4、土・日に変更して開催した。時期を変更したことによって、島外からの参加者が減少しないか危惧されてが、今大会を終えての総括を伺う。	町長	第9回ののんびりウォークの日程については、過去の大会参加者から桜の満開する時期に開催を希望する意見や第3週に開催する「ヤングフェスティバル」との兼ね合いで島内から参加が出来ないと意見もあり第4週に変更した経緯があります。 日程変更後に、他県の大会と重複することが判明し、参加者の減少については懸念もありましたが、これまでの要望も踏まえ、先ずは新たな試みも必要とすることで実施しております。結果として島外参加者が前年度より76名の減少となりました。 今大会参加者からは例年通りの第3週とし、他の大会と重複のないよう要望が多くありましたので次回大会の開催日については今大会の結果を踏まえ実行委員会において審議したいと考えております。
7	仲村 昌慧	屠畜場の改築について	老朽化している屠畜場の改築を検討してきたと思うが、これまでの取り組みの経緯と改築の見通しについて伺う。	町長	現在のと畜場は昭和54年に建築されたもので、36年が経過し老朽化が激しく、立て替え、改修の両面から検討を進めているところです。 これまでの経緯として、平成27年3月に建設検討委員会を設置して、検討を進めてきました。今後の見通しとしては、財源の問題、場所の問題などクリアしなければならない課題がありますが、早期に結論を出せるよう審議を進めて参ります。
7	仲村 昌慧	オスプレイ訓練計画について	オスプレイの訓練計画については、昨年の11月4日の第5回臨時会において、CV-22オスプレイの沖縄県内訓練場使用に断固反対する意見書を全会一致で可決したところである。しかし、防衛省は訓練実施の可能性がある自治体に通知したという。沖縄県は14市町村に説明したという。オスプレイの訓練計画の情報を伺う。	町長	昨年(平成27年)10月27日、沖縄防衛局より2名の職員が来庁し、CV-22の横田飛行場への配備計画についての説明が行われました。CV-22が2017年より横田飛行場に配備されること、配備に伴い訓練等で県内の基地や訓練場等を使用する計画があることについて伝えられましたが、訓練の時期や内容及び具体的な場所等については明らかにされていません。(※内容は新聞報道のとおりです。) 昨年の10月に行われた説明以降は、CV-22の横田飛行場配備に伴う訓練実施の可能性に関する通知ならびに説明は、防衛省ならびに県からも受けておりません。 改めて沖縄防衛局ならびに沖縄県基地対策課にも問い合わせましたが、具体的な訓練等に関する新たな情報はないとの回答を得ています。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨	
2	盛本 實	平成28年度施政方針について	<p>1、新たな産業創出を目指す海洋深層水の複合利用「久米島モデル」の実現に取り組むとしているが、具体的な事務内容について伺います。</p> <p>2、海洋深層水の高度な複合利用を目指すための任意組織「国際海洋資源・エネルギー利活用コンソーシアム」の具体的な内容と法人化に伴う効果について伺います。</p> <p>3、県内外からのチャーター便や大型クルーズ船寄港の誘致を図るとしていますが、誘致計画について伺います。</p> <p>4、「島の学校」体験プログラムや着地型観光商品開発の充実を図り団体旅行や民泊事業の推進を図り修学旅行の誘致に取り組むとしているが、民泊及び修学旅行のこれまでの実績と今後の見通しについて伺います。また、団体受け入れとなると輸送体制の強化が最も必要と思われるがどのような対策を講じていくのか伺います。</p> <p>5、各種イベントやスポーツキャンプの誘致も積極的に行うとしているが、既存のスポーツキャンプや各種イベント等の経済効果を算出する予定はないか伺います。</p> <p>6、交通の確保について、平成28年度に琉球エアコミューターが新機種を投入しますが、そのことにより町民の生活路線の確保及び観光客対策は十分だと考えますか。また、高速船導入について町長の考え方を伺います。</p>	町長	<p>1. コンソーシアムは海からの資源とエネルギーにより、持続可能なコミュニティ・モデル(久米島モデル)を実現して世界の島嶼・沿岸地域に発信していくことを目的に設立されました。活動内容は農水産業及びエネルギー開発や人材育成など多岐にわたるため、大学、企業など各専門分野から提案され議論した内容をとりまとめる作業を行っています。</p> <p>2. コンソーシアムは現在、産学官連携の任意団体です。そのため国など関係機関への公式要請や調査事業などを受託することができません。法人化することで予算要請や事業を受託することが可能となり、組織の安定化が図られるとともに久米島モデル実現に向けて持続した活動が可能となります。</p> <p>3. 航空機の県外チャーター便は、久米島空港での給油が条件となることから給油体制を整え、ツアー商品を他離島との連携を図りながら誘致に取り組んでいます。クルーズ船については、現在の港湾施設では接岸ができないことから、クルーズ船は沖合に停泊し、小型船で上陸する必要があります。今後、上陸施設の整備計画の推進と、クルーズ客の受入体制を整えることによりクルーズ船の誘致を図ります。</p> <p>4. 民泊事業は、平成25年度から開始し、初年度の97名の利用から平成26年度には372名、今年度は814名の実績となっております。平成28年度についても1,114名を見込んでおり順調に推移しております。修学旅行についても、毎年度毎に1校増えておりますが、今年度から新たに福島県をターゲットに誘致に取り組んでいるところです。また、団体旅行においては「島の学校」体験プログラムを取り入れた着地型観光商品の開発を行い離島体験交流事業や感動体験プログラム等の誘客に努めます。</p> <p>5. 経済効果の算出は、町主催の久米島マラソン及び楽天キャンプについては町において算出可能ですが、観光協会及びその他団体が開催するイベント等については主催団体の成果として算出できずと考慮しております。</p>
2	盛本 實	人口減少対策について	<p>人口減少対策について、どのような対策を講じているか伺います。</p> <p>1、I・Uターン対策について</p> <p>2、企業誘致について</p>	町長	<p>1. 平成27年12月議会の答弁の中で長期的な取り組みと短期的な取り組みについての考えはお示ししました。予算編成と計画策定のタイミング時期が折り合わず、具体的に取り組む事業の予算化についてはこれからです。</p> <p>2. 海洋深層水などの島の資源を活用した事業を行う企業を誘致、支援することで雇用増と定住増につなげたいと考えています。</p>

	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
10	玉城 安雄	28年度施政方針について	<p>教育、文化の振興の中から図書館機能を備えた生涯学習機能施設の建設に取り組むとしている、生涯学習の振興の中での図書館建設と同様なものなのか、その点も踏まえて何点か伺う。</p> <p>① 過去の議会でも図書館建設について2回ほど質問し、建設検討委員会を設置し進めるとの答弁だったが未だ設置されていないが、その時期は</p> <p>②建設に向けての今後のスケジュールと展望を伺う。</p> <p>公園整備の充実の中から関連して伺う。 ①現在、仲里改善センターが解体中だが、比嘉公民館建設予定以外の箇所の利用はどのように考えているか伺う。</p>	町長	<p>①図書館建設検討委員会の設置につきましては、現在、生涯学習機能施設建設推進委員会として設置準備を進めており、今月中旬に、第1回目の会議を開催する予定です。</p> <p>②建設に向けての今後のスケジュール及び展望については、平成28年度予算において、「基本構想・概略設計策定業務委託費等」として予算計上を図り、建設推進委員会の中で、他市町村の図書館施設等建設に関する情報収集を行いながら、施設の設置内容及びスケジュール等について協議を行ってまいります。今後につきましては、活用予算や建設用地の確保等が確定した後、着手後5年程度を目処とした建設を目指したいと考えております。</p> <p>【公園整備の件】 現在、仲里改善センター跡地の一角に、比嘉公民館の建設を進めており、完成後は公民館の背後に、大きな広場ができることとなります。地域公民館は、災害時の一時避難場所にも指定されていることから、広場を災害時の住民の集合場所としても活用できるよう、改善センター跡地に別の公共施設を建設することや、敷地を民間に払い下げることは、現段階では予定しておりません。広場の公園化など、具体的な整備計画は現在ありませんが、町民が自由に利用できる公共用地として活用することを念頭に、地域住民と広場の利活用及び管理について話し合っていきたいと思っております。</p>
10	玉城 安雄	久米島町役場那覇事務所の設置について	<p>国、県との調整、その他の要望等の総合窓口となり、官、民連携して利用でき、スムーズに行政運営、また経済活動ができるような久米島町独自の出先機関を設置する考えはないか町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>現在、国及び県の複数の機関に職員を派遣しており、派遣職員が各派遣先との連絡調整員としての役割も担っているため、行政に限定した出先機関設置には大きな必要性を感じていませんが、商業や観光など、他機関と連携する総合的な調整機関の設置については、検討したいと考えています。</p>
11	安村 達明	謝名堂、泊、宇根の道路整備について	<p>謝名堂、泊、宇根の道路整備が中止になった事を知った各字の人々や元議員の方からも、どういう理由で中止になったのかと聞かれ説明に困っている。長い間、整備があるという事で家の建て替えや土地活用を止めていた人もおり大変苦慮している。</p> <p>町は、中止になった理由説明をしっかりと行うべきと思うが、町長の見解を</p> <p>1.いつ頃どのような理由（反対者の件）も含むのか</p> <p>2.少子、高齢化で必要性（事業導入効果）がないのか。</p> <p>3.20年程前に、県庁職員から聞いた話だが、町役場から東西南北1kmに対して、町村モデル地区として環境整備（道路）が行われるとの話だったが事実か。明確な説明を伺います。</p>	町長	<p>謝名堂、泊、宇根の道路整備についてこの区間の県道整備について、昨年度から幾度となく事業採択に向け要請して参りました。平成12年度に概略設計は実施されていますが事業採択に至っていませんでした。</p> <p>事業が採択されていないので1.2の質問は、現時点で確認できません。</p> <p>3.町役場から東西南北1kmに対して、町村モデル地区として環境整備（道路）が行われる事業は、確認できませんでした。赤嶺議員の質問でも回答しましたが、浦崎副知事が2月18日、19日に久米島視察で来島したときに、仲里庁舎前の交差点改良問題と同時に、宇根に向けて歩道が狭隘である旨説明。整備事業採択に向けて強く訴えました。浦崎副知事からは「土木建築部と早急に協議したい。」旨の報告がありました。</p>

	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
11	安村 達明	前村基金の活用について	<p>今年2月に前村幸秀氏がお亡くなりになりました。ずっと元気でおられると思っておりましたが、大変残念です。</p> <p>前村基金は、人材育成として児童、生徒、学生の補助金に活用され、大変感謝されていますが、この制度を現在まで何名の方々が利用されたのか。又、この基金は人材育成との名目ですので奨学基金だけでなく、別の面で、例えばレントゲン技師（福岡に4年の専門学校がある）なら十分活用できるのではないかと考えますが、久米島高校を卒業する学生から2名程度選抜し、技師を育成したら立派な人材育成だと思うが、町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>前村基金の利用状況についてですが、現在前村基金は、ハワイ・コナワエナ高校へ派遣された交流生と、国公立大へ進学した久米島関係の生徒に給付が行われており、平成25年度から運用が開始されて以来、これまでに、ハワイ交流生が9名、国公立大学者が27名、合わせて36名の学生が前村基金を利用しております。次に、レントゲン技師など医療系で国家資格を目指す人材育成につきましては、平成24年10月に行われた第1回 前村幸秀人材育成基金審査会で「医師、薬剤師、放射線技師等を目指しているものがいれば申請書を提出してもらい審査委員会が審査する。」としており、申請があれば、審査委員会で内容を審査し決定したいと考えております。</p>
11	安村 達明	道路整備について	<p>久米アイランドから真我里までの道路整備（路肩）や以前質問した真謝区のマンドウ原の整備、クシ原の舗装について進捗状況を伺う。</p>	町長	<p>道路整備について</p> <p>1. 久米アイランドから真我里までの道路整備について、同道路は、比嘉2号線です。 同路線は、平成28年度新規採択に向け土木建築部とヒアリング中でございます。</p> <p>2. 真謝地区のマンドウ原、クシ原の整備について 農林水産省の「農業基盤整備事業」で平成29年度～平成30年度事業採択に向け協議中であります。</p> <p>1. 2の整備事業については、協議中ではありますが、昨年と同様に交付金が減額された場合、新規採択の枠配分額が厳しい状況となり、採択が見送られる可能性があります。</p>
13	饒平名 智弘	公立保育園の存続を	<p>中央保育園はこれまでどおり町が運営した方が良いのではないかと？</p> <p>久米島では町と社協、民間が運営する保育園がある。しかし、多種多様なニーズがある現状の中で、保護者が安心して預けられる施設になっているのが中央保育園である。園児の成長のため、保護者が安心出来る子育てできる環境を整えるためにも中央保育園は町営のまま存続する事が必要不可欠だと考えるが、町長の考えを伺いたい。</p> <p>町営と民間が切磋琢磨し、久米島の子育て環境が良くなれば、人口増にも繋がるのではないかとと思う。</p>	町長	<p>保育行政については、これまで2園を民営化し、中央保育所もいずれは民営化との方針で来ましたが、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」の実施や待機児童の解消、民営保育園の運営方針、施設の老朽化等の課題が見えてきております。これらの課題を精査し、平成28年度中には方針を明確にしたいと考えております。</p>
13	饒平名 智弘	国に航空運賃低減を	<p>久米島、那覇間の飛行機運賃が高いのは鳥島射撃場や久米島射撃場があるために、遠回りし100キロ飛行距離が150キロになっているのが原因ではないかと、そうだとすれば国や防衛省に対して航空運賃の低減についてもっと強く保障や支援を求めるべきだと思うが町長の考えを伺いたい。</p>	町長	<p>昨年(27年)6月に、JTAに鳥島射撃場及び久米島射撃場が返還された場合の航空機の飛行経路による飛行距離及び運賃について試算していただきました。現在の基本飛行ルートは180kmに対し、訓練空域が無かった場合の基本飛行ルートは162kmと、僅か18kmの差であり、飛行時間にして約2分の差との結果が出ております。</p> <p>昨年の6月議会でも答弁したとおり、飛行時間2分間の差では、消費航空燃料等の経費に大きな影響は認められず、航空運賃大幅低減に直接結びつく要因とはなりにくいため、訓練空域回避を理由とした航空運賃の低減要請は難しいものと考えておりますが、要望の多い郷友会及び観光客など交流人口の航空運賃の低減については「球美の島交流促進事業」による割引設定の拡大を引き続き要請してまいります。</p>

	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
1	喜久村 等	学校のトイレ改修について	幼稚園、小中学校のトイレの便器を和式便器から洋式便器に取りかえる事はできないか伺う。	教育長	現在各学校におけるトイレの便器の設置状況については、多くの学校で、和式と洋式の2種類の便器が設置されておりますが、久米島小学校と美崎小学校の2校は、普通教室棟においては和式便器のみの設置となっております。 洋式の便器が未設置の学校につきましては、今後調査を実施し、早い時期に洋式便器に変更できるよう努力してまいります。
1	喜久村 等	災害対策について	去年の台風による美崎地区の北真謝原とサアタ原一帯の潮風害による塩害等を防止する計画はないか。又、台風後で調査を行ったか。その調査の内容を伺う。	町長	・美崎地区の字真謝南真謝原～サアタ原一帯は、平成15年度～平成18年度に沖縄県南部林業事務所の真謝保安林改良事業によりフクギ、イソフジ、アカテツ、アダン等の植林が実施されています。 去年の台風時の越波により防林柵の倒壊、潮害の被害が確認されたので南部林業事務所に報告を行いました。現場の確認は行っていないとの事でした。今後の対応等については、林業事務所と調整をしております。 ・平成27年8月24日の台風15号は久米島に大きな被害を発生させたところであります。 台風通過後町では地域防災計画に基づき災害調査を行っています。調査内容としては、農作物の被害等について調査を行っています。
9	棚原 哲也	28年度の施政方針の産業の振興について	施政方針の(5)にある交通の確保で、平成28年度琉球エアーカーがDHC8-100(39席)からDHC8-400(50席)貨物拡張型に2機更新があり座席の拡充が図られるとあるがわずかに10席程の増であり団体客等への対応策としては不十分であり残り3機の更新については74席のままの更新を強く要望していく必要があると思うがその取り組み方針は？又、海路の高速輸送に対する高速船の導入に関する記述が本年度より削除されているが施策の方針転換なのか伺いたい。	町長	・琉球エアーカーが保有する機材は、平成27年度から更新が始まり、平成27年度2機、平成28年度2機、平成29年度に1機、3年間で5機全てが貨物拡張型に更新される予定となっております。今年度導入した新機材については既に訓練飛行を始めており、平成28年4月から那覇～久米島路線に2便が就航します。平成28年度についても貨物拡張型に決定していることから、74席型への機材変更は困難な状況にあります。 団体客に対応する座席の拡充については、JTAの新機種導入による予備機材が1機発生することから繁忙期の増便とするよう要請してまいります。 ・高速船については現在、委員会で議論している最中であり、需要等に関するアンケート調査の結果及び補助メニュー、事業採算性などを検討して今後の方針を決定してまいります。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原 哲也	安心して子育てができる環境づくりについて	<p>施政方針の福祉の充実の(1)母子保健・児童福祉から安心して子育てできる環境づくり等ありますが、</p> <p>①乳幼児医療費助成の手続きをさらに利便性のよい方法で提供できないか？自動償還システムの導入の県による全額補助は27年度までとせまっているが前回の議題以降町民のニーズを確認、把握し検討はしたのか？</p> <p>②待機児童の解消を図るとあるが現在の待機児童の実数はどうなっているか？さらに4月以降の待機児童はどうなる見込みか？</p> <p>③町内の公共施設やトイレにはおむつを替える台や子どもを座らせておく場所等の設備を備えた施設はあるか？</p> <p>④安全・安心な妊娠出産、産後の育児不安の解消とあるが子育て支援センターや預かり保育等の施設・サービスもしっかりと住民の声にこたえられるような場所として提供され運営されているか？</p>	町長	<p>①こども医療費助成金の自動償還払いについては、医療機関での医療費の自己負担額支払いから助成金の給付までの間が、現行の償還払いよりも長くなるデメリット等があり、当面は導入しない方針で進めております。</p> <p>②待機児童については、2月末現在で0歳児が13名です。新年度スタートの時点では待機児童が無い状況で調整をしていますが、4月以降は出産、転入により0歳児に待機児童がでる事が予想されます。</p> <p>③現在町内の公共施設でベビーチェアが設置されているトイレは(公立久米島病院、あじま一館、イーブ情報プラザ)3箇所、オムツ交換ができるベビーベッドなどが設置されている施設は(公立久米島病院、久米島博物館、バーデハウス、空港ターミナル)4箇所です。 その他公共施設や観光地には、ベビーチェアやおむつ交換台等の設置はありませんが、今後、親子が利用する頻度が高い施設で、おむつ交換台等の設置が可能なトイレについては、設置を検討してきたいと思っております。</p> <p>④子育て支援センターについては民間が、一時預かり保育は町営で実施しておりますが、運営方法等それぞれ課題があり、改善に向けて取り組んでまいります。</p>